



20万分の1地質図幅 「八代及び野母崎の一部」 の見どころ2

A) 前期白亜紀川口層. 横臥褶曲が見事 (八代市日奈久南方, 二見川沿い).

B) 古第三紀始新世の赤崎層. 名前の通り赤色 (天草上島東部, 白嶽南方).

C) 片麻岩類を不整合で覆う前期ペルム期の鶴の木場層. 泥質岩中に片麻岩の巨礫 (ブロック) がある. 写真下部にスケールのハンマー (八代市東陽町鶴木場南西方の林道沿い). ペルム紀正常堆積物はしばしば花崗岩類, 片麻岩類 (共に400Ma前後と考えられる) を不整合で覆うことが露頭で確認できる.

D) 後期ペルム紀球磨層の礫岩. 花崗岩の円礫を多く含む. 球磨層にはこのような礫岩が特徴的に含まれる (八代市東陽町河俣). (撮影 A,B 利光誠一, C-E 斎藤 眞)



E) 人吉盆地を東から望む. 人吉盆地は東北東～西南西方向の典型的な構造盆地 (本図幅の東側の5万分の1「椎葉村」地域内の江代山山頂付近から望む. 江代山は前ページの上部に写真). 秋～冬にかけて盆地内には朝霧が立ちこめ雲海がよく見られることで有名.